

## 学会記事

## I. 植生学会誌校閲者

以下の方々（敬称略，五十音順）には，2012年4月1日から2013年3月31日までの間に受理または不採択（取下げを含む）となった論文の審査にあたっていただきました。ここに記して，お礼申し上げます（\*は植生学会員以外）。

阿部聖哉，石田弘明，伊藤浩二，伊藤秀三，梅原 徹，大窪久美子\*，大黒俊哉，岡 浩平，上條隆志，久保満佐子，黒田有寿茂，佐藤 保，佐藤利幸\*，島野光司，鈴木伸一，武田義明，津田 智，永松 大，西本 孝，浜端悦治，林田光祐，原正利，日置佳之，藤原道郎，前迫ゆり，村上拓彦\*，村上雄秀，安田泰輔，山瀬敬太郎，若松伸彦

産環境保全委員会と連名の岩手県知事，宮城県知事，福島県知事あて申立書を提出した。

## II. シンポジウム報告

2013年2月17日にいわて県民情報交流センター（アイーナ8階会議室）において，植生学会・日本自然保護協会シンポジウム「岩手の海岸の自然再生に向けて～東日本大震災後の海岸植生の自立的再生と共存のために～」を開催した（共催：公益財団法人日本自然保護協会／後援：環境省，岩手県，岩手県教育委員会，岩手県立大学，岩手生態学ネットワーク，NHK盛岡放送局，岩手日報社，朝日新聞社盛岡総局，毎日新聞社盛岡支局，読売新聞社東京本社盛岡支局）。参加者は176名であった。

講演は次の通り。

日本の海岸植生とその成り立ち，澤田佳宏（兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科）

津波被害により東北地方の海岸植生は破壊されたのか，原正利（東日本大震災復興プロジェクトチーム，千葉県立中央博物館）

市民調査によって明らかとなった海岸と植生の変化，由良浩（千葉県立中央博物館），小此木宏明（日本自然保護協会）

大津波が岩手県の海岸植生・植物にもたらしたもの，島田直明（岩手県立大学総合政策学部），鈴木まほろ（岩手県立博物館）

三陸復興国立公園構想，堀上勝（環境省自然環境局国立公園課）

海岸植生の保全と再生に向けて必要な配慮，藤原道郎（植生学会企画委員会，兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科）

<パネルディスカッション>

パネラー：澤田佳宏，原 正利，由良 浩，小此木宏明，島田直明，鈴木まほろ，堀上 勝，藤原道郎

座長：朱宮丈晴

## III. 事務局活動報告

東日本大震災で破壊された海岸地域の復旧事業に対して，植生学会として地域の自然環境へ配慮を依頼するため，関係当局の責任者である林野庁長官，林野庁関東森林局長へ緊急要望書を提出した。また企画委員会から仙台森林管理署長あて緊急の要望書，生態学会生態系管理専門委員会および日本水産学会水